

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	1249
事業名	西淡公民館活動事業	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	教育部 生涯学習文化振興課		款 教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020		項 社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 公民館費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__	
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】	
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 西淡地区の市民(対象人数:平成22年3月末現在)		対象人数(人) 11,400	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 西淡公民館で学ぶ講座受講生や西淡地域の住民が、実生活に即する教育、学術及び文化に関する社会教育事業を行い、もって教養の向上、健康増進、情操の感化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。			
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 主に西淡地域の住民を対象に、西淡公民館で実施されている公民館講座の発表の場として、西淡公民館まつり『花待ち発表会』を実施したり、旧西淡町時代から続いている書初め大会を実施する。			
	背景	g 余暇時間を有効に活用し、文化サークルなどの活動に参加したいという住民の意識は高くなっており、その文化活動に場と機会を提供している。			
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()			
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 地域の活性化のために継続が必要な施策				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	参加者数					指標単位
							人
	指標説明 (指標算出 方法等)	西淡公民館まつり及び書初め大会参加者数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	400	400	400	400	400	
	実績値	350	330	24			
	達成度 (%)	87.5	82.5	6.0	-	-	
	目標値設定 の考え方	会場である西淡公民館大ホールと集会室の収容人数					
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	1,290	126	57	169	169	
	報償費(公民館講座謝礼等)	1,209	61	18	60	75	
	需用費(印刷製本費)	71	65	10	67	64	
	役務費(折込手数料等)	10		29	42	30	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他	352					
	一般財源[A]	938	126	57	169	169	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	90	84	85	85	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	3		
事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1			
年間経費([A]+[B])	1,028	210	142	254	169		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	90.2	18.4	12.4	22.2	14.8		
経費に関する 補足説明	平成19年度までは公民館講座の経費も含まれており、事業内容についても講座開設を含めたものであったが、平成20年度以降は別事業に統合された。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
達成度	目標達成度	%	87.5	82.5	6.0	-	-		
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) かつて、西淡公民館が中央公民館としての位置付けで実施していた事業について、市の公民館事業へ大部分が統合がされたため、南あわじ市公民館活動事業として事業展開を行っている。 その結果、独自の事業としては地区公民館との調整事務と貸館業務が中心となった今では西淡公民館活動事業を別途計上する意味は薄れてきている。						自己評価 (5点評価)	1	
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 公民館活動としては、南あわじ市全体を対象にした取組に変わろうとしている中で、西淡だけの取組は、あまり意味を成さなくなった。 但し、他の公民館(三原・南淡)についても、同様の問題が発生している中で、独自の活動を展開している現状では、三原や南淡も含めて事業を見直す時期が来ているのではないかと考える。						自己評価 (5点評価)	2	
			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
効率性	事業単価	円	90.2	18.4	12.4	22.2	14.8		
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 緑公民館以外の3館については、額が少なくなりながらも事業継続しているが、地区公民館よりも少ない事業予算を個別に執行するよりも、早急に予算を統合させるほうが効率的な運営が出来る。						自己評価 (5点評価)	2	
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低					
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 合併から5年以上経過した現在では、西淡公民館であっても、広く南あわじ市民全体に開放すべき時期に来ている。						自己評価 (5点評価)	4	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		三原公民館と南淡公民館については、独自の文化展を開催するための経費として計上されているが、平成20年度からは南あわじ市全体で文化祭を実施するようになった。それに伴い、西淡公民館まつりとして実施していた発表会は廃止し、秋の文化祭についても展示部門だけを残して廃止された。 現在では書初め大会が実施されるだけになったので、事務事業を統合したほうが、市民全体を対象にした書初め大会にも生まれ変わることが出来ると思う。					<div data-bbox="826 1505 1394 2072" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>	

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	現状維持としているが、緑以外の3公民館活動事業を南あわじ市公民館活動事業として統合を検討する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	旧町時代から続く独自の文化祭を、南あわじ市文化芸能祭として統合を検討する。	
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	特になし	
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	コスト面	コスト面
	特になし	
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 既に公民館講座については統合された形で実施されており、文化芸能際についても2年前から統合されたと理解している。(但し、三原地域は現在も独自に実施している) 西淡公民館については、マイナスとなる影響は特に発生しないが、コスト縮減等の効果も無いように思われる。 書初め大会や将棋大会など市全体で実施したほうが効率的な事業は、統合することで住民サービスの向上に繋がると思われる。	